

謹賀新年

昨年は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます

本年も社員一同皆様にご満足頂ける商品・品質・サービスの提供を心がける所存でございますので

何卒昨年同様のご愛顧を賜りますよう御願い申し上げます



NEZUGROUP

根津鋼材株式会社
有限会社小山運輸

代表取締役社長
代表取締役社長

根津
小山

令和5年 元旦

訓光
雅伸

TOPICS

- ① 鉄鋼関連情報（社団法人鉄鋼連盟）
- ② 身近になるAI技術
- ③ COCOAの削除は手順どおりに行いましょう

1

鉄鋼関連情報(社団法人鉄鋼連盟)

下記 URL より社団法人鉄鋼連盟が発表した『鉄鋼需給の動き 2022 年 12 月』の資料を閲覧することが出来ます。

<https://www.jisf.or.jp/data/jyukyu/documents/jyukyu202212.pdf>

2

身近になる AI 技術

■AI は自動翻訳、エアコン、お掃除ロボット、自動車の自動運転、クレジットカードの不正利用検知、等々活用を広げています。

今後も、AI+農業、AI+ドローン、AI+医療等、色々な業種との連携が注目されています。

今月号は **AI+スポーツ** について紹介いたします。

■VAR の進化

VAR (Video Assistant Referee) は主審が下した判定を、ビデオ映像と通信用ヘッドセットを用いて確認するサッカーの試合審判員のことです。

2018 FIFA ワールドカップで使用が開始されました。その時は下図の様に多くの人の目でジャッジをしていました。



■半自動オフサイド技術

2022 FIFA ワールドカップでは「半自動オフサイド技術」が導入されました。

AI 技術で一変、オフサイド数、計 252 回…前回ロシア大会から **80 回増加**しました。

(オフサイドはサッカーのルールでも難解です。簡単に言うと、ゴール前での待ち伏せ行為を禁止するルー

ルで、攻撃の選手は、相手陣内で味方からボールを受ける際、必ず相手チームの選手が2人以上、自分の前に残っていなければならない。)

<https://www.jleague.jp/a-to-z/offside/> Jリーグで解説

映像をベースにしたトラッキングシステムと、IMU（慣性計測装置）を内蔵するボール「AL RIHLA」を組み合わせることでオフサイド判定実現。

人間の目では判定が難しいことも多く、これまで数多くの論争を巻き起こしてきたオフサイド判定を正確に判定します。



■IMU 内蔵のボール

ドイツ adidas（アディダス）が開発、IMU とはロケットにも使われている技術です。

慣性計測ユニットは、ジャイロセンサー3 軸、加速度センサー3 軸と温度センサーが搭載されており、3 次元の慣性運動を検出するユニットです

自分の位置を 1 秒間に 500 回発信しています。

日計 XTECH

<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/column/18/00001/07489/>



■今回、有名な微妙判定のシーン（奇跡の 1mm）



ボールは外に出ていなかった！

サッカーW杯の日本対スペイン戦で“三笥の1ミリ”と称賛を浴びたプレーの判定を支援したのもVARでした。

一方、この画像をめぐっては、ドイツ国内で前田選手のスキンヘッドがボールと誤判定されたと話題になりました。

大丈夫です。位置情報を発信するボールと画像による判定なので、スキンヘッドをボールの位置と誤判定する事はありません。

■進化する技術

4年前はビデオ映像を複数人が観て判定していたVARですが、画像処理やボールの位置（IOT）をAIが参照して、オフサイドやボールのIN/OUT判定をする仕組みに進化しています。

次の4年後にはどのような進化をしているのでしょうか？楽しみです。

しかしVARの判定が公正なのか、誰が保証するのかなと思ってしまいます。

■AI+コイルセンター

弊社は2022年10月からAI+コイルセンターの活用を目指して、プロジェクトをスタートしました。

まずは生産管理業務をAIに置換え無人化する仕組みです。

プロジェクトは2023年中に実証実験が終了する計画です。

また、無人化テストとし長沼事業所（福島）の事務所機能を2023年夏までに無人化し、遠隔管理で製造、運送部門をコントロールします。

本年もいろいろな事にチャレンジしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

3

COCOA の機能停止による削除について

■ 接触確認アプリ（COCOA）の機能を停止します

新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）については、陽性者の全数届出の見直しにより、陽性登録が可能の方が限られることから、COCOAの機能を停止することになりました。

★単純に削除すると、接触検知のデバイスが残り、不要な消費電力が発生する可能性があります。

最新版にアップデート（3.0.0 機能停止版）して、起動後に機能停止の手続きを実行 → アプリ削除を実行してください。

厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29139.html

■ 本年も、よろしくお願い致します。

システムソリューション事業部 樋口です。

今年も「NEZUシステム通信」は皆様のIT利用環境が安心、安全、そして便利な道具になるよう、色々な情報発信をして参ります。

2023年も皆様にとって健やかで良い年でありますように、心よりご祈念を申し上げます。

ご安全に

みんなでつくる感染症対策の輪

新型コロナウイルス
接触確認アプリ
COCOA



新型コロナウイルスとの接触を通知する
厚生労働省のアプリです。

編集後記

システムソリューション事業部 福永です。

頭の体操です。

実は読み方を間違えている漢字30選

漢字	間違い	正解	漢字	間違い	正解
月極	げっきよく	つきぎめ	貼付	てんぷ	ちょうふ
重複	じゅうふく	ちょうふく	代替	だいがえ	だいたい
早急	そうきゅう	さっきゅう	押印	おいしいん	おういん
遵守	そんしゅ	じゅんしゅ	礼賛	れいさん	らいさん
凹凸	でこぼこ	おうとつ	年俸	ねんぼう	ねんぼう
所謂	しょせん	いわゆる	割愛	わりあい	かつあい
汎用	ぼんよう	はんよう	廉価	けんか	れんか
逝去	いきよ	せいきよ	役務	やくむ	えきむ
出納	しゅつのう	すいとう	適宜	てきせん	てきぎ
各々	かくかく	おのおの	嫌悪	けんあく	けんお
会釈	かいしゃく	えしゃく	原因	げいいん	げんいん
漸次	ざんじ	ぜんじ	暫時	ぜんじ	ざんじ
美人局	びじんきよく	つつもたせ	忌引き	いびき	きびき
依存心	いぞんしん	いそんしん	粗利益	そりえき	あらりえき
他人事	たにんごと	ひとごと	雰囲気	ふいんき	ふんいき

実は意味を間違えている言葉20選

言葉	間違い	正しい
さわり	話の最初の部分	話の要点
こそく	卑怯	一時しのぎ
辛党	辛いものの好き	酒好き
失笑	小馬鹿にして笑う	こらえきれず笑ってしまう
割愛	不要と考え省略	やむを得ず省略
役不足	役目が重すぎる	役目が軽すぎる
確信犯	悪いとわかっての行為	正しいと信じての行為
破天荒	豪快で大胆	誰も成しえなかったことをする
雨模様	雨が降っている	雨が降り出しそう
知恵熱	頭を使いすぎて出る熱	乳幼児期に突然出る熱
御の字	一応納得	とてもありがたい
しおどき	引き際	ベストタイミング
おもむろに	不意に	ゆっくりと
性癖	性的な癖	性格の偏り
げきを飛ばす	激励する	自分の意見を広める
気が置けない	油断できない	気遣いが必要ない・親しい
うがった見方	ひねくれた見方	本質を見抜く見方
敷居が高い	上品過ぎて気おくれする	不義理があり行きにくい
天地無用	上下逆にしてもよい	上下逆にしてはダメ
一姫二太郎	娘1人息子2人	第一子が娘で第二子が息子

言語は時がたつにつれて変化していきます。表以外にも「既存」ですが、これは本来「きそん」と読んでいたようです。今では「きぞん」と読むのが日常的になっていることもあり、旧来の読み方が廃れていくのもやむを得ないことかもしれません。

また、他にも意味が変わりつつある言葉として「近しい」があげられます。辞書を引きますと「人と人とが心理的に近い関係にあるさま」とあり、「親しい」とほぼ同様の言葉であることがわかります。対して昨今の用法では「近しい結果が得られた」のように「近い」を文語的に表現するように用いられている例がよく見られます。

ソフトウェアの言語にも流行りと廃りがあります。年々新しい言語が登場して来ます。

世の中の変化の早さには驚くことばかりですが、うまく付き合えるように心がけたいものです。

発行：根津鋼材株式会社 住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里1-32-5(TEL)03-3805-5555

メール：hp-master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>

発行人：根津訓光／監修 樋口良成／編集長

編集：システムソリューション事業部 ※NEZUシステム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、配信依頼がありましたお客様に発行しております。

配信中止の場合は、お手数ですがhp-master@nezu-g.co.jpまでご連絡ください。その際には、御社名、御社（配信先）メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。